

事業 プロセス	環境配慮 方針/措置	基本計画段階	設計段階	工事段階	供用段階	留意事項
事業 内容	環境配慮方針04：来訪者への環境配慮に関する啓蒙が可能な運用システム					
	/措置	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮ガイドラインに基づく環境配慮の取り組みを適宜公表するとともに、環境配慮活動を体験できる運用システム、施設内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【自然エネルギーの活用】 <ul style="list-style-type: none"> 中腹施設、テラス手摺下壁面に太陽光発電パネルを組み込んだ手摺を設置した。 【既存資源の活用】 <ul style="list-style-type: none"> 山頂展望台トイレ・散水には湧水を利用することとした。 【照明計画】 <ul style="list-style-type: none"> トイレなど一部の居室は人感センサーによる照明計画とした。 照明点滅を細分化した配電計画としており、供用後は利用形態に応じた点灯を行うことで、使用エネルギーを抑制している。 【地域資源の活用】 <ul style="list-style-type: none"> 施設内外には、札幌硬石などの地場材を利用しており、地産地消やライフサイクルマネージメント、ウッドマイレージなどといった環境負荷抑制の取り組みを提示できる。 【啓蒙活動】 <ul style="list-style-type: none"> 藻岩の森づくりのプロセスを札幌紹介施設内で展示することで、藻岩ならではの緑化・森林再生の取り組みを周知する。 四季ごとの自然を札幌紹介施設内で展示することで、藻岩の豊かで貴重な自然環境を周知するとともに、その保全活動への参加を啓発する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【シャトルバスのバイオディーゼル燃料の使用】市電の電停と山麓駅舎間に運行するシャトルバスにバイオディーゼル燃料の使用とその表示をする。 【太陽光発電システムのアピール】中腹駅舎に設置する太陽光発電システムのアピールを行う。 【LED照明の多用】LED照明を多用し、消費電力の低減に努めている。 【環境配慮措置状況のチェック】官民共同の下、適切な環境配慮措置が行われているか、随時チェックする。 【ガイドラインの更新】社会状況や周辺環境の変化、来場者のニーズ等を考慮して、必要に応じて本ガイドラインを更新・運用していく 【観光収入の環境保全への還元】藻岩山で販売する飲用水に関して、1本の売り上げにつき1円を「レクリエーションの森」に係る基金に還元する。 	